

こちらの調査票のみ返送してください。

調 査 票

質問ごとにあてはまる答えの
番号を○で囲んでください。

あなた自身のことについて

問1 あなた自身のことについておたずねします。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. 答えたくない、わからない、その他 | |

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70歳以上 | | |

(3) あなたの主な職業は、次のうちどれですか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 会社員・公務員（会社役員を含む） | 2. 派遣・契約社員 |
| 3. パートタイマー・アルバイト | 4. 自営業・農業（家族従業者を含む） |
| 5. 自由業（医師、弁護士、会計士、作家、芸術家など） | |
| 6. 家事専従（主婦、主夫など） | 7. 無職 |
| 8. 学生 | 9. その他 |

(4) あなたの家族構成は、次のうちどれですか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 単身世帯（一人暮らし） | 2. 夫婦・パートナーのみ |
| 3. 親と子（2世代） | 4. 親と子と孫（3世代） |
| 5. その他 | |

(5) あなたは結婚していますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していたが、死別・離別した |
| 3. 結婚していないが、パートナーと暮らしている | |
| 4. 未婚 | |

(6) (5)で1・3と答えた方におたずねします。あなたは共働きをしていますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

(7) あなたにお子さんはいますか。(○はひとつ)

1. いる	2. いない
-------	--------

(8) (7)で1と答えた方におたずねします。お子さんは次のうちどれにあてはまりますか。
(2人以上いる場合は、あてはまる番号すべてに○)

1. 就学前	2. 小・中学生	3. 高校生以上
--------	----------	----------

(9) 家族に介護を必要とする人はいますか。(○はひとつ)

1. 同居している家族に介護を必要とする人がいる
2. 家族に介護を必要とする人はいるが同居していない
3. 家族に介護を必要とする人はいない

男女平等について

問2 以下のA～Hの分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。(各分野についてそれぞれ○はひとつ)

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない・どちらとも言えない
A 家庭生活	1	2	3	4	5	6
B 職場	1	2	3	4	5	6
C 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
D 地域活動(自治会、町内会)の場	1	2	3	4	5	6
E 政治の場	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
G 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
H 社会全体	1	2	3	4	5	6

問3 男女があらゆる分野で平等になるためには、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める
2. 女性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める
3. 男性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める
4. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図る
5. 女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る
6. 男性の家事・育児・介護などの家庭参画を促進する
7. 行政や企業などの重要な役職に女性を積極的に登用する制度を採用・充実する
8. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
9. その他(具体的に: _____)
10. わからない

女性の活躍について

問4 女性が増えるとよいと思う職業や役職は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員
2. 都道府県・市町村の首長
3. 国家公務員・地方公務員の管理職
4. 企業の経営者・管理職
5. 弁護士・医師などの専門職
6. 大学・企業などの研究者・技術職
7. 小・中・高校の管理職
8. 自治会・PTAなどの役員
9. その他(具体的に: _____)
10. 特にない
11. わからない

問5 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○はひとつ)

1. ずっと職業を持つ方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
4. 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
5. 女性は職業を持たない方がよい
6. その他(具体的に: _____)
7. わからない

問6 女性が出産後なども離職せずに働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。(○はいくつでも)

1. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家庭参画への理解・意識改革
5. 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
6. 働き続けることへの女性自身の意識改革
7. 長時間労働の改善を含めた働き方の改革
8. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
9. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
10. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
11. その他(具体的に: _____)
12. わからない

生活と仕事の調和（ライフ・ワーク・バランス）（※）について

（※）性別や年齢などに関わらず誰もが、仕事・家庭生活・地域生活・個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。一般的にはワーク・ライフ・バランスと表すことが多いが、瀬戸市では、ライフ（生活）あつてのワーク（仕事）という観点から、ライフ・ワーク・バランスと表している。

問7 生活の中で、仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先しますか。（A，Bについてそれぞれ○はひとつ）

A 理想として	
1. 「仕事」を優先したい	
2. 「家庭生活」を優先したい	
3. 「地域・個人の生活」を優先したい	
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の3つのバランスをとりたい	
8. その他（具体的に：	）
9. わからない	
B 現実として	
1. 「仕事」を優先している	
2. 「家庭生活」を優先している	
3. 「地域・個人の生活」を優先している	
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の3つのバランスをとっている	
8. その他（具体的に：	）
9. わからない	

問8 あなたが平日に家事・育児・介護に携わる時間はどのくらいですか。(A～Cについてそれぞれ○はひとつ)

A 家事		
1. 30分未満	2. 30分～1時間未満	3. 1時間～3時間未満
4. 3時間～5時間未満	5. 5時間以上	6. 全く携わっていない
B 育児		
1. 30分未満	2. 30分～1時間未満	3. 1時間～3時間未満
4. 3時間～5時間未満	5. 5時間以上	6. 全く携わっていない・該当しない
C 介護		
1. 30分未満	2. 30分～1時間未満	3. 1時間～3時間未満
4. 3時間～5時間未満	5. 5時間以上	6. 全く携わっていない・該当しない

問9 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 賛成	2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対	4. 反対
5. わからない・どちらとも言えない	

問10 問9で1・2と答えた方におたずねします。それはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとってよいと思うから
5. 妻が家事・育児・介護などと両立しながら、働き続けることは大変だと思うから
6. その他(具体的に: _____)

問11 あなたは何か地域の活動に参加した経験はありますか。(○はひとつ)

1. 現在参加している
2. かつて参加していたが現在はしていない
3. 参加したことはない

問 1 2 問 1 1 で 1・2 と答えた方におたずねします。現在（今までに）どのような活動に参加していますか（した経験がありますか）。（○はいくつでも）

1. P T A ・子ども会などの活動
2. 町内会・自治会の活動
3. 老人クラブ・高齢者の会の活動
4. 福祉や子育て支援などのボランティア活動
5. 教養・趣味・スポーツのサークル活動
6. 公民館の活動
7. 地域力向上組織の活動
8. 環境保全やまちづくりなどの市民活動
9. その他（具体的に： _____）

問 1 3 あなたが地域活動をしようとする場合、支障となっていたり、支障となるであろうと思われることがありますか。（○はいくつでも）

1. 仕事が忙しくて時間がない
2. 家事や育児、介護で時間がない
3. 家族の理解や協力が得られない
4. 地域や親せきなど周囲の目が気になる
5. 一緒に活動する仲間がいない
6. 活動に関する情報がない
7. 関心がない、または興味のある内容がない
8. その他（具体的に： _____）
9. 特に支障となることはない

問 1 4 男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. まわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること
6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
7. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの I C T（情報通信技術）を利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. その他（具体的に： _____）
11. わからない

防災における男女共同参画について

問15 男女共同参画や多様性の視点を取り入れた防災体制を構築するには、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 性別に関わらず多様な人々が一緒に防災活動や訓練に取り組む
2. 避難所などの運営の際、女性・LGBTQ（性的少数者）・乳幼児・介護が必要な人・障害者・国籍などに配慮する
3. 自主防災リーダーや災害ボランティアコーディネーターなど防災活動を担う女性を育成する
4. 性別や立場によって異なる災害時の備え（生活環境・物資・安全など）についての知識を普及する
5. 日頃から地域の男女共同参画を進める
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

DV（ドメスティック・バイオレンス）（※）について

（※）配偶者や恋人などの親密な関係にある者からの身体的、精神的、経済的または性的な苦痛を与えられる暴力的行為のこと。

問16 あなたはDVを受けた経験がありますか。(〇はひとつ)

1. ある
2. ない

問17 問16で1と答えた方におたずねします。DVについて誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

1. 相談しようとは思わなかった
2. 相談したかったが、相談しなかった
3. 公的な機関に相談した
4. 民間の相談機関に相談した
5. 弁護士、医師、カウンセラーなどに相談した
6. 家族、友人、先生などに相談した
7. その他（具体的に： _____）

問18 問17で1・2と答えた方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 誰に（どこに）相談してよいのかわからなかった
2. 相談してもむだだと思った
3. 相談したことがわかると、仕返しされると思った
4. 自分さえ我慢すればよいと思った
5. 世間体が悪いと思った
6. 他人を巻き込みたくなかった
7. 子どもや家族に危害が及ぶと思った
8. そのことについて思い出したくなかった
9. 相談するほどのことではないと思った
10. その他（具体的に： _____)

問19 あなたはDVについて相談できる窓口があることを知っていますか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問20 問19で1と答えた方におたずねします。相談できる窓口について、どのようなところを知っていますか。(〇はいくつでも)

1. 警察
2. 配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター）
3. 愛知県男性DV被害者ホットライン
4. 法務局、人権擁護委員、法テラス
5. 民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）
6. 瀬戸市の相談窓口（女性の悩みごと相談、人権相談など）
7. その他（具体的に： _____)

男女共同参画行政について

問 2 1 次の用語について、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを選んでください。
(○はいくつでも)

1. 男女共同参画社会
2. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）
3. 男女雇用機会均等法
4. ライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の調和）
5. ダイバーシティ（多様性）
6. ジェンダー（社会的性別）
7. L G B T Q（性的少数者）
8. D V（ドメスティック・バイオレンス）
9. J K ビジネス
10. S D G s（持続可能な開発目標）
11. トライアングルプランⅢ（瀬戸市女性活躍推進計画・第3次瀬戸市男女共同参画プラン）
12. 瀬戸市ライフ・ワーク・バランス推進宣言
13. 見たり聞いたりしたものはない

問 2 2 「男女共同参画社会」・「ダイバーシティ（多様性）」を実現するために、今後、瀬戸市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 審議会や各種委員会に女性を積極的に登用する
2. 瀬戸市の管理職に女性を積極的に登用する
3. 保育施設・保育サービスなどの子育て支援を充実する
4. 介護施設・介護サービスなどの介護支援を充実する
5. 子育てや介護等でいったん仕事を離れた人の再就職を支援する
6. 男女共同参画社会やダイバーシティについて、市広報誌やパンフレットなどで啓発する
7. 女性の能力開発や人材育成などの講座を充実する
8. 男性の家事・育児・介護などへの参加を進めるための講座や啓発を充実する
9. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する
10. 学校教育において、男女の平等と相互の理解や協力についての学習機会を充実する
11. 職場における男女共同参画推進について企業等へ働きかける
12. その他（具体的に： _____)
13. わからない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査の分析結果をプランに反映させるとともに、瀬戸市ホームページや広報せとでも皆さまにお知らせします。

記入もれがないか、もう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに8月31日（月）までにポストにご投函ください。

